

いま改めて企業を取り巻く
リスクと向き合う

「関東大震災から100年」



自然災害は企業の経済活動や景気動向に大きく影響を与える要因です。近年では、台風や線状降水帯による大雨が洪水や土砂崩れなどの二次災害を引き起こしています。また、停電や通信障害によって公共インフラが機能しなくなることで、事業活動が停止してしまう事例も少なくありません。災害の影響を最小限に抑えるためには、防災対策だけでなく減災対策の強化も不可欠です。

甚大な被害を及ぼした関東大震災から9月1日で100年の節目を迎えました。本号では「いま改めて企業を取り巻くリスクと向き合う～関東大震災から100年～」をテーマとして特集を組み、「南海トラフ巨大地震に備える“その鍵は「想像力」」「地震災害に備える～物流業における事業継続計画（BCP）策定のポイント」「企業における地震時のリスクコミュニケーション～あいまいな状況に備える～」の3本の論文を取りあげました。

南海トラフ巨大地震に備える “その鍵は「想像力」”

岩田 孝仁

01 ●

地震災害に備える ～物流業における

事業継続計画（BCP）策定のポイント

矢野 裕之

02 ●

企業における 地震時のリスクコミュニケーション ～あいまいな状況に備える～

中村 功

03 ●